

MOMOにつき

かばんに一枚myふろしき ★6月18日のできごと

現代のスピーディで使い捨ての時代の中で、忘れられつつあるふろしき。今日はふろしき研究会の浜口美穂さんをお迎えして、楽しくおしゃべりしながらいろいろな包み方を教えていただきました。



四角い布もあつという間にエコバックに変身。あなたもふろしき包みを体験してみませんか？

オペラ・歌曲のミニコンサート ★7月19日のできごと

昨年に引き続き、ボストンよりムジカ・ヴィッツのメンバーの萩野陽子さん（ピアノ）が、気文化会館、名古屋）での演奏会のため帰国。今年はボストンで一緒に勉強された金原聡子さん（ソプラノ）もお誘いいただき、MOMOでミニコンサートが開催されました。



地域の中学校の合唱部のみなさんをはじめ、高校生から大人の方々まで一緒に、ここから感動がひろがるひとときでした。

まちの縁側MOMO（マチノエンガワ モモ）暑い陽射しを和らげるMOMOにたくさんある緑と公園の緑が豊かな空間を演出する縁側。最近「氷」ははじめました。まちの縁側MOMOブログ<http://86862469.at.webry.info/>

大久保康雄の風の記憶

安らかに眠れ、愛猫シャチ

18年も飼っていた愛猫が7月4日の夜、安らかに旅立った。大往生であった。ここ数年、家中の至るところで日長一日眠ってばかりいた。獣医には人間でいえばもう90歳近い歳だから、寝てばかりいても仕方がないと云われていた。

賢い猫で軽い引き戸であれば自分で開けて入って来たり、贅沢にも溜まった水はあまり飲まず、水道の蛇口から流れる水を美味しそうに飲んでた。最近では体調が思わしくないようで、人間と同じく視覚も嗅覚も、衰えてきているようだった。時折妙な鳴き声もあげるようになっていた。悟っていたのだろうか？自分の死期が近いことを。それを私たち家族に知らせようとしていたのだろうか？

シャチがいなくなったと騒ぎ出したのは姪であった。仕事から帰ってきた姪が夕食を食べていた時には、隣の椅子に同じように座っていたという。それからいなくなったのだ。遺体は近くを探しに行っていた上の甥が見つけた。一本表通りに出た灌木の繁みにまるで眠るように横たわっていたという。吐血した跡があったが、事故にしては遺体がどこも傷いていなかった。飼った猫は決してその死に際を飼主主にもみせることはないという。

18年も家にいた猫だから、思い出は尽きない。姪はショックのあまり泣いて、泣いて、嘔吐まで繰り返した。下の甥も一晩中泣き明かしていた。無理もない。彼らが子どもの頃から家にいたのだ。家族も同然である。そして家族全員が重苦しい一夜を過ごした。

生き物を飼うということは、すなわちその死にも立ち会わなければいけないということでもある。小動物の生命は飼主のそれよりも絶対的に短い。愛していればそれだけ別れも辛くなる。しかし、シャチは私たち家族に18年間も和やかな空気や、微笑みや、憩いを与えてくれ、思い出を残してくれた。ありがとう！シャチ。安らかに眠れ…。



大久保康雄（オオクボヤスオ）まちの縁側育くみ隊の理事であり、紙芝居集団・風穴一座座長を務めるなど、多種多様な顔をもつチェアウオーカー



今月のウイングのウイング

会所の意味

7月13日（日）、集住研究会で京都へ。それが終るとおのずから祇園祭の宵山をめぐる。動く美術館のような山鉾にみとれる。新町通百足屋町は、平安京造営以来今日まで1200年の歴史をもつ日本最古の歴史の街区である。見事な鉾を見上げつつ流れる妙なる祇園囃子に耳を傾け、ふと下をみるとぶあつい本『百足屋町史』が目にとまった（図1）。

その表紙には、町並みの中に「會所」の字がくっきりと浮かんでいる。江戸時代に自治組織としての町組（ちょうぐみ）等の会合の場所として、かつ取引所の総称としても使われていた。しかし、会所のはじまりは、鎌倉時代に逆のぼる。連歌会や茶寄合の盛行とともに、それにともない寄合の場として「會所」が成立したことにある。

會所とは文字通り寄合いの場所の意であり、室町時代に本格的に発展していった。それは、幕府における年中行事、ことに和歌・連歌・猿楽・松拍子・茶の湯・立花など各種の文芸・芸能が盛んに行われたことと無縁ではない。

鎌倉や京都において発生・発展した會所は、安土・桃山時代、名古屋の町がひらかれた400年前には、家康はそれまでの會所の意味に加えて、一街区の真中の共用空間を會所と呼び（図2）、神社仏閣や火の見やぐらなど、人々が安心して暮らせる地域生活基盤としての意味を付与した。



「錦二丁目まちの會所」は、こうした日本の都市文化の発展史に流れる、寄合い交流し生きる豊かさを表現しあう場と、まちなかに職・住・祭共存のための安心居場所という二重の意味を、新しい状況のもとに展開しようとスタートした。

まだポチポチであるが、オープン後2カ月たった今、次のような場として生彩ある使われ方がなされている。**マスタープラン策定委員会・同企画会議等、まちの未来を語りあう寄合いの場**



図1 「百足屋町史」の表紙

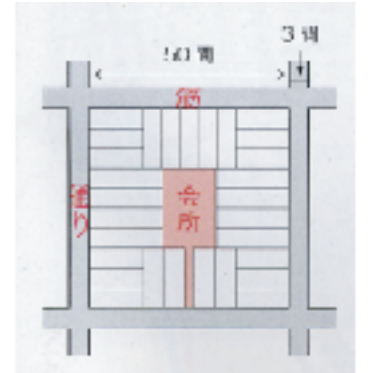


図2 會所の形式

名古屋大学・中部大学・ASU等、若き学徒がここに参集しまちから学びまちに提案を投げかける共に高まりあう場

海外や他学会の人々が来所し、内外の多様な人々の交流と発信の場

地区内経営者等キーパーソンが出入りし、町の新しい情報や動きを交換する場。とりわけKさんは連日のようにこの場にあらわれ、この地区にかかわって55年間の歴史と、激動の今をめぐる状況を多面的に語って下さる。彼曰く「ここでしゃべっておくと言葉を銀行に預けたような気分となって、そのうち充実した提案となってかえってくるかも・・・」と。

果たして人々のつぶやきの連鎖と蓄積が、まちの未来像を共感をもって合意できる「利子」つきの成果につながるであろうか？

「まちの會所」には熱いエネルギーが渦巻きはじめている。

※この原稿は延藤安弘のブログ

（安弘思遊記<http://enside.exblog.jp/>）の再掲です



延藤安弘（エンドウヤスヒロ）NPO法人まちの縁側育くみ隊代表理事。愛知産業大学大学院教授。錦二丁目まちの會所・世話人代表。

□ “錦二丁目まちの会所”

大学と地域の連携の創造的場、地元と共にまちの未来を構想するマスタープランづくりの場、まちの元気づくり発信の場として歩みはじめた錦二丁目まちの会所です。



→まちの模型を使って錦二丁目への創造的提案を発表する名古屋大学の学生たちと地域の方々

□ “錦二丁目まちのデザイン塾”

講師に学びながら、触発された思いをカルタに表現する、まちのデザイン塾。次回9月は「環境共生とコンバージョン」をテーマに行う予定です。まちのデザイン塾の情報は下記にお問い合わせ下さい。WEB (<http://www.kin2.bpl.jp/index.html>) も随時更新中！ぜひご覧下さい。

■まちの会所問い合わせ先：(担当 名畑)
TEL*FAX/052-201-9878 E-Mail/info@engawa.ne.jp

□まちの縁側育くみ隊情報

【ジネンカフェvol.018】
テーマ：はじめまして、『じゃんぐるじむ』です
日時：8月2日(土) 14:00~16:00
会場：くれよんBOX
(名古屋市昭和区小桜町3-11羽ね屋敷1階)
ゲスト：竹内由美子さん
(障がい児の家族とその支援者の会『じゃんぐるじむ』代表)

参加費：300円
コメント：
うまれたかわいいわが子に障がいがある・・・それはとてもツライ事ですよ。でもツライ事ばかりではなく、幸せな事の方が多いのです。じゃんぐるじむは、いろんな場面から、こどもたちの生きやすい環境作りを目指して活動しています。障がいがあっても心はみんな一緒。その事をたくさんの人に知ってもらいたいのです。子どもたちの話を交えながら、お話していきたいと思ひます。

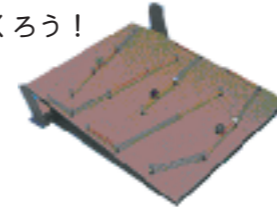
■ジネンカフェの問い合わせ先：(担当 大久保)
TEL*FAX/052-936-1717 E-Mail/ookubo@engawa.ne.jp

□まちの縁側MOMO情報

【縁側ギャラリー】
メタルエンボッシング作品・二人展
日程：8月19日(火)~8月22日(金)

【手作り楽しもう会】
日時：8月8日(金)、22日(金) 10:00~12:00
参加費：700円(お茶代込み・材料費は実費)
お申込：下記のTEL又はFAX、メールにて

【夏休み子ども企画・手作りピザ&ダンボール工作】
夏休みの工作をMOMOでつくろう！
今回はビー玉コロピョンをつくるよ！！
夏のレクリエーションにいかがですか？
日時：8月9日(土) 10:30~14:00ごろまで
教え人：ダンボール工作 村田祐一郎さん
参加費：500円(15名限定)
お申込：下記のTEL又はFAX、メールにて



【ネイチャーアクセサリー製作】
自然の木の实やお花を使って世界に一つだけのアクセサリーをご一緒につくりませんか？
・お花のリング
・木の実のブローチ

日時：8月17日(日) 13:00~15:00
講師：森内きく子さん(La.marble ラ・マルブル)
参加費：500円(15名限定)
お申込：下記のTEL又はFAX、メールにて

【とんぼ玉ワークショップ】
日時：8月21日(木)、27日(水) 13:30~16:30
講師：椎葉先生
参加費：500円(小さなとんぼ玉2ヶ込み) 1日12名(1時間に4名まで) 小学3年生以上
お申込：下記のTEL又はFAX、メールにて

■まちの縁側MOMO問い合わせ先：(担当 延藤節子)
TEL*FAX/052-936-1717 E-Mail/momo@engawa.ne.jp
※イベントはすべて「まちの縁側MOMO」で行なわれます

☑まちの会所
8月

OPEN: 月・水・金 13:00~17:00
記入無
錦二丁目関連
まちの縁側育くみ隊
延藤個人

月	火	水	木	金	土	日
[]内の数字は時間を表します				1	2	3
[16]名大生修論ゼミ [18]地元若手経営者へのヒヤリング	[16]愛知コンサル協会錦二タンケン・幻燈会	[E]13]長野市縁側実践講座 [E]18]長野縁側大衆	[E]10]長野ファッション入門講座 [E]17]信里幻燈会	[E]10]ASU院入試面接 [E]14]ASU修論中間発表会		
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	[18]マスタープラン策定企画会議	[E]14]新潟ファッション講座 [E]18]まちの縁側幻燈会	[E]10]新潟まちタンケン&ワークショップ	24
25	26	27	[E]17]京都集住研		30	31

☑まちの縁側MOMO
8月

OPEN: 火・金 10:00~17:00
OPEN: 水・木 13:00~17:00
OPEN: 土・日 イベント開催日

月	火	水	木	金	土	日
[]内の数字は時間を表します				1	2	3
4	5	6	7	[10] 手作り楽しもう会	[10] 夏休み子ども企画 手作りピザ&ダンボール工作	10
11	12	まちの縁側MOMO夏休み 8月10日(日)~8月16日(土)			16	[13] ネイチャーアクセサリー製作
18	19	20	[13] とんぼ玉ワークショップ	[10] 手作り楽しもう会	23	24
25	26	[13] とんぼ玉ワークショップ			30	31